



守岡ひとし市議

決算特別委員会で 質問しました。

○市税収納率が低い要因は？

収入済額は前年度比マイナス4.1%でコロナによる固定資産税、個人市民税、都市計画税の減少が影響していると思われる。その中で市税年度別収納率が示され、本市は令和3年度90.8%ということで、13市中最低となっている。収納率が低い要因、向上対策をどのように考えているか。

税務課長 複数の大型滞納案件が解決していないことが大きな要因です。対策として、粘り強く定期的に交渉に当たっているとところです。分割納付で今年度中に完納する案件もあります。

○移住が増えている要因は？

移住受入環境の整備に向け、移住相談からの移住件数が令和2年度2件だったものが、令和3年度は11件もあった。移住相談そのものも43件と伸びており、非常に大きな成果だと考えるが、その要因についてどのように分析しているか。

建設課長 東京にある移住相談窓口での増加やランドバンクに相談窓口を拡充したことが主な要因です。また移住する物件へのマッチングがうまくいったことが移住増につながっていると考えます。

○緊急通報システムの状況は？

一人暮らしの高齢者のために緊急通報システムサービスがあるが、どれくらいの利用者がいるか。またそれによって救出された件数はどれくらいか。いまのペダント式ではいざというときに機能しないという問題を持つ。ハイテクを利用したシステムなどの導入が必要ではないか。

健康推進課長 令和3年度の利用者は38名で、救出件数はゼロです。より良いシステムを比較しながら取り入れていきたいと考えます。

○子育てサポート企業について

子育てサポート企業としてくるみん認定が行われているが本市では社会福祉法人1社が認定されているだけだ。伸び悩んでいる要因と今後の対策は？

商工課長 認定に至るまでの過程におけるハードルの高さが伸び悩んでいる要因だと考えられます。対策としては、事業者への意識付けが重要であると考えます。労働局や県とも連携して進めていきます。

○市営住宅の住み替えについて

老朽化した市営住宅について、今後、建替ではなくセーフティーネット住宅の登録を受けた民間賃貸住宅を供給して住み替えを促すということだった。令和3年度は希望地区に差異があり住み替えに至らなかったとある。そもそもセーフティーネット住宅の登録を受けた民間賃貸住宅はどれくらいあるのか。今後どのように登録数を増やしていくのか。

建設課長 一〇〇件登録がありますが空き部屋は1件です。今後不動産会社などに家賃低廉化制度への理解を培い、登録物件を増やしていきたいと考えます。

○不登校対策について

新型コロナとの関係で、心が不安定になったことから中学校での不登校出現率が増加したとのこと。本市では適応指導教室・すこやか教室が設置され支援に当たっているが何人ぐらい利用しているか。

学校教育課長 令和3年度4名利用となっています。

先日の総務文教委員会で、令和3年度市内の不登校児童生徒数が39人いるという報告があったが、その中で指導の結果登校するまたはできるようになった児童生徒が12人、約3割の子どもたちが復帰できるようになったとのことだが、その要因は何か。

学校教育課長 すこやか教室の他、各学校で保護者とも連携しながらきめ細かい指導を続けています。学校だけでなく他の機関との様々な連携が積み重なったことによる成果だと考えています。

○10億円を越える国民健康保険基金について

本市の国保基金は保有額が高く、令和元年度の統計では県内13市中3位となっている。健康保険法等の改正によって急激な給付増や保険料収入の不足が見込まれた場合、県の財政安定化基金事業で対応できるようになった。国保基金をどのように活用していく方針か。

健康推進課長 基本的には税率の現状維持に活用すると共に、予防活動などにも活かしていきたいと考えています。

介護予防、認知症対策の

取組を高く評価しました

要介護認定者の伸び率が目標3.1%に対しマイナス0

・4と大きな成果を出しました。様々な地域における保健活動の成果だと考えますが、特にいま各地区で百歳体操が取り組まれ、そこに市の保健師が訪問して支援しているのはすばらしいことだと評価しました。

またコロナ禍のことで、認

知地域支援推進員を配置し、認知症予防教室を実施したり、認知症初期集中支援チームを設置し、要介護認定を受けていない段階での介入を行い必要な支援につなげたことや、目標値においても認知症サポーターのうち新規ボランティア活動者数が目標を上回る11人となったことも高く評価しました。

